

むかし、王寺駅の駅前広場は、線路北側の久度の方にだけありました。駅前広場からは商店街がのびていて、旅館、お菓子屋さん、薬屋さん、本屋さん、呉服屋さん、肉屋さん、八百屋さん、豆腐屋さん、時計屋さん、寿司屋さんなど、たくさんのお店が建ち並んでいました。

夏には、商工まつりがおこなわれて、変装競争やチンドン屋さん、漫才、花火の見物客で、商店街はとてにぎわいました。

## 人と文化が集う場所にぎわう王寺駅前商店街



### 駅前商店街

駅北側の久度地域が再開発され、リーベル王寺がつけられたり、県道・王寺停車場線が拡幅されたりしました。それらが完成したのは平成16(2004)年。それまで昔ながらの商店街が広がっていました。



昭和橋商店街 [平成2(1990)年撮影]



駅前通商店街 [平成13(2001)年撮影]

### 花緒街

今の近鉄王寺駅すぐのところ、昭和24(1949)年に誕生した商店街で、履物の卸・小売り商店が軒を連ねていました。花緒街・履物問屋街・履物センターなどとも呼ばれ、全国市場の20%のシェアを誇るほどでした。

[昭和28(1953)年撮影]



### 駅前のにぎわいの象徴

#### 商工まつり



### 王寺町 花火の起源

毎年8月13日に大和川の河川敷で開催されていた花火大会は、平成17(2005)年を最後に幕を閉じました。たくさんの方が見物に訪れ、屋台もたくさん出ていましたが、そのルーツは昭和20年代に始まったとされる王寺町商工会主催の「商工まつり」でした。

[昭和28(1953)年撮影]

#### 商工まつり

かつての商工まつりは、駅前商店街の夏の謝恩セールとして開催されていました。何日も続けて開催され、様々な催しがあり、花火大会もそのひとつでした。チンドン屋さんとともに商店の広告看板を持って練り歩く広告行進もありました。

[昭和28(1953)年撮影]

